

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年9月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【サブドレン浄化設備の吸着塔4、5ユニット(A)入口弁リミットスイッチの動作不良について】 当直員がサブドレン浄化運転のため、吸着塔4、5ユニット(A)入口弁の「全開」操作を実施した際、本来、リミットスイッチの開閉表示ランプの開ランプが点灯するところ、点灯せず正常に動作していないことを確認。 原因は、弁の開閉状態に対してリミットスイッチが正常に動作していないことより、リミットスイッチの取り付け位置がずれていると推定。 現場調査の結果、弁本体とリミットスイッチ連結部の固定用ナットに弛みを確認されたことから、ナットの締付・位置調整を行い、弁の開閉表示に異常の無いことを確認済み。 また、同形状のリミットスイッチを使用している手動弁について調査を行い、検知部に異常が無いことを確認済み。</p>	G III	9月21日
2	<p>【地下水バイパス移送ポンプ(B)出口逆止弁(F102B)のシート漏えいについて】 当直員が、地下水バイパス設備(Bエリア)電気品点検のため、移送ポンプ(B)を停止後入口弁を全閉し、出口逆止弁シート漏えい確認のため、移送ポンプ(A)の自動起動を確認したところ、移送ポンプ(B)吸込圧力に異常を知らせる警報が発生した。 また、トレンドデータを確認したところ、移送ポンプ(A)起動後に移送ポンプ(B)の吸込圧力が上昇したことを確認。 原因は、移送ポンプ(B)出口にある2つの逆止弁(F102B・F106B(※))のシート漏えいにより、移送ポンプ(A)から逆流し吸込圧力が上昇したと推定。 移送ポンプ(A)からの逆流防止のため、移送ポンプ(B)出口にある2つの逆止弁の間にある出口弁を全閉した。 今後、当該弁を交換予定。</p> <p>※移送ポンプ(B)出口にある逆止弁(F106B)のシート漏えいについては、不適合番号3参照</p>	G III	9月21日
3	<p>【地下水バイパス移送ポンプ(B)出口逆止弁(F106B)のシート漏えいについて】 当直員が、地下水バイパス設備(Bエリア)電気品点検のため、移送ポンプ(B)を停止後入口弁を全閉し、出口逆止弁シート漏えい確認のため、移送ポンプ(A)の自動起動を確認したところ、移送ポンプ(B)吸込圧力に異常を知らせる警報が発生した。 また、トレンドデータを確認したところ、移送ポンプ(A)起動後に移送ポンプ(B)の吸込圧力が上昇したことを確認。 原因は、移送ポンプ(B)出口にある2つの逆止弁(F102B(※)・F106B)のシート漏えいにより、移送ポンプ(A)から逆流し吸込圧力が上昇したと推定。 移送ポンプ(A)からの逆流防止のため、移送ポンプ(B)出口にある2つの逆止弁の間にある出口弁を全閉した。 今後、当該弁を交換予定。</p> <p>※移送ポンプ(B)出口にある逆止弁(F102B)のシート漏えいについては、不適合番号2参照</p>	G III	9月21日
4	<p>【原子炉注水系の予備水源バッファタンク用窒素発生装置No. 2の不具合について】 当直員が集中監視室のWebカメラにて、原子炉注水系の予備水源バッファタンク用窒素発生装置No. 2に「原料空気圧力低下異常」の警報が発生し、装置が停止したことを確認。 現場を確認したところ、バッファタンク用窒素発生装置No. 2の圧縮機本体に「エレメント(※)異常」警報発生を確認。 当該圧縮機本体を隔離し、今後、原因調査および当該装置を修理予定。 なお、バッファタンク用窒素発生装置については、予備水源のバッファタンクおよび付随する配管の腐食防止を目的に窒素を注入している設備であり、原子炉注水機能への直接的な影響はなし。</p> <p>※エレメント:ろ過器</p>	G III	9月22日
5	<p>【陸側遮水壁設備の冷却水循環ポンプのカップリング摩耗について】 協力企業作業員が、陸側遮水壁設備の冷却水循環ポンプ分解点検中にポンプ側カップリングの摩耗を確認。 原因については、現在調査中。 今後、当該カップリングを交換予定。 冷却水循環ポンプは、1系統中に4台あり、運転号機の切替により許容可能なため陸側遮水壁設備に影響はない。</p>	G III	9月22日